

小泊漁港の勉強会～漁港ってなに？～（西北地域県民局の巻 その 20）



「開会式」よろしくお願いします！！



タコ、触ってみました。



イカの水しぶき！「うわっ！つめてえ！」

【平成26年10月28日 小泊漁港（下前地区）にて】
にし君： ねえ、おべ様。海のそばにある倉庫みたいな場所に、子供たちが集まっているけど、いったい何をしているの？

おべ様： 集まっている子供たちは中泊町立小泊小学校5年生のみんなだね。今日は、小泊漁港の勉強会ということで、これから地元の漁業協同組合の人や、小泊漁港の工事関係者、青森県や中泊町の人たちから、小泊周辺に棲む魚や貝のお話、漁港の役割や漁港のつくり方について教えてもらうことになっているんだよ。

ちなみに、いまみんながいるのは、小泊漁港（下前漁協）の荷捌所（にさばきじょ）の中だね。

にし君： なるほどお！それじゃ、僕も一緒に勉強しよう。

おべ様： おっ。やる気だね！にし君、勉強会が始まったよ。最初は、小泊周辺に棲む魚や貝などについてのお話だね。水槽にいろんな魚や貝、海藻が入っているから見てごらん。触ってもいいんだよ。

にし君： いろんな生き物がいるんだね。タコやウニ、サザエもいるよ。こっちの水槽にはヒラメもいる。おべ様、この小さな魚はなに？

おべ様： これは、ウスメバルとキツネメバルの子ども（稚魚）だね。もうすぐ海に放流するんだよ。小泊周辺ではこの2種類の魚がとっても有名なんだ。とっても美味しいんだよ。

にし君： 食べてみたいなあ。あっ！あっちの水槽にはイカがいるよ、触ってみよと・・・うひゃっ！！冷たい！！イカが水を吐いたっ！！

おべ様： 大丈夫かい、にし君（笑）。イカは外敵から逃げるために水を吐くことがあるからね。

でも、こうやって、自分の住んでいる地域の沿岸域で獲れる魚や貝を実際に目で見て、手で触れる機会はあまり多くはないから、とっても素晴らしい体験ができたね。

次の勉強会は暖かい室内だから、にし君が風邪をひく前に移動しよう！

にし君： うん、服を乾かさなきゃ・・・。

おべ様： さあ、『すくすく下前館』についたよ。これから漁港の役割についての勉強だよ。

この方は、この学習会を企画した“小泊海域漁港漁場環境公共推進協議会”の会長だよ。昔と今の違いもお話してくれるみたいだ。

にし君： 昔と今は、獲れる魚も違ったのかあ。自然って不思議だね。やっぱりウスマバルは人気者だというのはわかったよ！

おべ様： 次は、漁港にあるさまざまな施設の役割についてのお話だね。

にし君： 漁港ってコンクリートの壁に囲まれていて、浮かべている漁船を守ってるってイメージだったけど、いろんな役割があるんだね。

おべ様： そうなんだよ。例えば防波堤は台風などの高波から漁船を守るだけではなく、漁港背後の集落を守ることも目的としているし、岸壁や用地は、獲ってきた魚や網を整理したりするためにあるんだよ。あと、臨港道路は普段何気なく通って生活の一部になっているけど、魚などをトラックで安全に素早く運ぶために作られた道路なんだ。

にし君： 漁港っていうのは、漁業者さんたちの基地の役割だけじゃなく、周りで生活する人たちの暮らしをよりよくするためのものなんだね！

おべ様： いい表現だね、さすがにし君。あと、漁港の周辺では、漁港の景観を良くし、快適で潤いのある環境にするため親水公園やスポーツができる多目的広場が整備されたり、漁港周辺の集落の生活環境を良くするため汚れた水をきれいにして海へ流す下水道も整備しているんだ。

にし君： 漁港と漁業者、そしてその家族がみんなで快適に暮らせるようにいろんな施設があるんだね。

おべ様： それじゃ、最後の勉強“漁港のつくり方”だよ。実際に工事現場で働いている建設会社さんが説明してくれるから、いろんな工夫やスケールの大きい話がきけるはずだよ。今回は、今まさに工事している防波堤についてだ。

にし君： 防波堤って、近くで見ると大きなコンクリートの塊に見えてたけど、箱型のケーソンや、外からの波を弱めてくれる消波ブロックなど、いろんな部品でできてるんだね。それに、ぼくの身長よりずっと大きいよ！すごいなあ、工事する機械もすごく大きいんだろうなあ。

おべ様： そうだね、この小泊漁港で作っている消波ブロックは70トンもあって、それを運ぶためのトレーラー車は日本に2台しかないらしいよ。

にし君： 今まで知らなかったことばかりだ！漁港って作り方もスケールが大きいし、いろんな役割をもって、みんなの生活を豊かにしてくれているし、身近なものなんだね。今日は本当に勉強になったよ。

おべ様： 今日にし君と一緒に勉強してくれたみんなが、こういった環境公共の取組に共感してくれたら、とてもうれしいな。



会長のお話、難しかったかな？



漁港って、いろいろな役割があるんだね。



今日は、ありがとうございました！